

● 歴代所長・理事長 ● 研究テーマ ● 事業履歴

1984

■ 財団法人国際高等研究所設立許可(文部省)

1990

■ 岡本 道雄 初代所長就任

1994

■ 岡本 道雄 第2代理事長就任・小田 稔 第2代所長就任

1995~

■ 社会情報学(吉田民人)
■ 情報論的転回(吉田民人)
■ わざ学(山口 修)

1996~

■ 人類の自己家畜化現象と現代文明(尾本恵市)
■ 生命体の多様性(岩槻邦男)

1998

■ 新宮 康男 第3代理事長就任

1998~

■ 政府統治(government governance)の研究(本間正明)
■ 環境と食料生産の調和に関する研究(渡部忠世)
■ 生物研究と生命(中村桂子)
■ ヒト遺伝子解析及び遺伝子医療に伴う倫理問題とそれへの対応(武部 啓)
■ 情報市場における近未来の法モデル(北川善太郎)

2000~

■ 高度情報化社会の未来学(坂井利之)
■ 種族維持と個体維持のあつれきと提携(岡田益吉)
■ 多様性の起源と維持のメカニズム(吉田善章)

2001~

■ 公共部門における人材の配分と育成(猪木武徳)
■ 東西の恋愛文化(青木生子)
■ 災害観の文明論的考察(小堀鐸二)
■ 思考の脳内メカニズムに関する総合的検討(波多野諠余夫)
■ 物質科学とシステムデザイン(金森順次郎)

2003~

■ 開発途上国と日本人長期政策アドバイザー(橋本日出男)
■ 分化全能性(原田 宏)
■ 共同研究の法モデル(北川善太郎)

2005~

■ 進歩主義の後継ぎはなにか(廣田榮治)
■ 産学連携の知的財産法モデル(北川善太郎)
■ コア・エグゼクティブと幹部公務員制度の研究(村松岐夫)
■ 多元的世界観の共存とその条件(石川文康)
■ 電子系の新しい機能(新庄輝也)
■ 学術研究機関における学術情報システムのモデル構築(北川善太郎)

1978

■ 関西学術研究都市調査懇談会(奥田懇)発足

1984

■ 奥田 東 初代理事長就任

1989

■ 世界の高等研究所交流会議
■ 国際公開フォーラム
「人類の未来に関する創造的研究をめざして」(東京・大阪)

1991~

■ 理論生命科学(岡田節人)

1993~

■ 安全科学(村上陽一郎)

1994~

■ 比較幸福学(中川久定)
■ 複雑系の秩序と構造(長谷川晃)

1996

■ 沢田 敏男 第3代所長就任

1997~

■ 科学の文化的基底(伊東俊太郎)
■ 言語の脳科学(乾 敏郎)

1999~

■ 器官形成に関わるゲノム情報の解読(松原謙一)
■ 物質研究における多角的協力の構築(金森順次郎)
■ 臨床哲学の可能性(野家啓一)
■ 「一つの世界」の成立とその条件(中川久定)

2001

■ 金森 順次郎 第4代所長就任

2002~

■ 国際比較からみた日本社会の自己決定と合意形成(田中成明)
■ スキルの科学(岩田一明)
■ センサー論(鷲田清一)
■ 量子情報の数理(大矢雅則)
■ 21世紀の宇宙開発・宇宙環境利用の問題(木下富雄)

2004

■ 立石 義雄 第4代理事長就任

2004~

■ 学習の生物学(星元 紀)
■ 芸術と社会(佐々木正子)
■ 隙間-自然・人間・社会の現象学-(鳥海光弘)
■ ダイナミックスからみた生命的システムの進化と意義(津田一郎)

2006~

■ 計算機マテリアルデザインコピーマートの構築(中西 寛)
■ 19世紀東アジアにおける国際秩序観の比較研究(吉田 忠)
■ スキルと組織(榎木哲夫)
■ 認識と運動における主体性の数理脳科学(沢田康次)
■ グローバリゼーションと市民社会(仁科和彦)
■ 生命科学の発展に対応した新しい社会規範の模索(位田隆一)
■ 文化財保全技術(志水隆一)

2008~

■ 絵画と文学に表象される、時間と空間の脳による認識(近藤寿人)
■ 近代精神と古典解釈:伝統の崩壊と再創造(手島勲矢)
■ 数量的アプローチによる日本経済の比較史的研究(宮本又郎)
■ ナノ物質量子相の科学(金森順次郎)

2009~

■ 宇宙における生命の総合的考察とその研究戦略(海部宣男)
■ 受容から創造性へ
-近現代日本文学におけるスタンダードの場合-(ジュリー ブロック)
■ 諸科学の共通言語としての数学の発掘と数理学への展開(高橋陽一郎)
■ 天地人(尾池和夫)
■ 21世紀における文化としての設計科学と生産科学(岩田一明)
■ 法と倫理のコラボレーション-活気ある社会の規範形成-(服部高宏)
■ メタマテリアルの開発と応用(石原照也)

2011~

■ 『ケア』から見た社会保障の新たな展望(西村健一郎)
■ 心の起源(松沢哲郎)

2013

■ 志村 令郎 第6代所長就任

2013~

■ クロマチン・デコーディング(石川冬木)
■ 分子基盤に基づく生体機能への揺らぎとダイナミックネットワークの解明(寺嶋正秀)

2014~

■ ネットワークの科学(郡宏・増田直紀)
■ 精神発達障害から考察するdecisionmakingの分子的基盤(辻 省次)
■ 生命活動を生体高分子への修飾から俯瞰する(岩井一宏)
■ 設計哲学-俯瞰的価値理解に基づく、人工財の創出と活用による持続可能社会を目指して-(梅田 靖)
■ 総合コミュニケーション学(時田恵一郎)

2016

■ けいはんな“エジソンの会”発足
■ 理化学研究所及び京都府と基本協定を締結
■ 奈良先端科学技術大学院大学及び理化学研究所との相互強力に関する包括協定を締結

2018

■ 森 詳介 第5代理事長就任・松本 紘 第8代所長就任

■ 2018年度に実施の研究活動
■ 2019年度から実施の研究活動
■ 終了した研究テーマ

2007~

■ 高度計測技術の発展と埋没(本河光博)
■ 細胞履歴に基づく植物の形態形成(鎌田 博)
■ 次世代情報サーチに関する総合的研究(田中克己)
■ 女性研究者と科学技術の未来(伊藤厚子)
■ すきまの組織化(鳥海光弘)
■ スンマとシステム-知のあり方-(亀本 洋)
■ 生物進化の持続性と転移(津田一郎)

2009

■ 尾池 和夫 第5代所長就任

2010~

■ アジア・デザイン・エンサイクロペディアの構築(藤田治彦)
■ 意識は分子生物学でどこまで解明できるか?(坂野 仁)
■ 交渉学の可能性
-新しい世界の関係構築と紛争の予防のために-(松岡 博)
■ ジェンダーからみた家族の将来(姫岡とし子)
■ 宗教が文化と社会に及ぼす生命力についての研究
-禅をケーススタディとして-(天野文雄)
■ 単分子エレクトロニクスの現状認識と
近未来実現へ向けての中核体制構築(夢田博一)

2012~

■ 老いを考える(松林公蔵)
■ ゲノム工学とイメージングサイエンスに基づく生命システム研究の新展開(川上浩一)
■ 東アジア古典演劇の「伝統」と「近代」(天野文雄)

2013

■ 国際高等研究所戦略会議(ISC)発足
■ けいはんな哲学カフェ“ゲートの会”発足

2014

■ 創設30周年記念フォーラム開催

2015

■ 長尾 真 第7代所長就任

2015

■ IIAS塾ジュニアセミナー開始

2015~

■ 人工知能に関する問題発掘型対話基盤と新たな価値観の創出(江間有沙)
■ 領域横断型の生命倫理プラットフォームの形成に向けて(児玉 聡)
■ 21世紀地球社会における科学技術のあり方(有本建男)
■ 人類生存の持続可能性-2100年価値軸の創造-(佐和隆光)
■ 多様性世界の平和的共生の方策(位田隆一)
■ 「けいはんな未来」懇談会(松本 紘)

2017

■ 国際高等研究所シンポジウム開催(大阪・東京)
■ 基幹プログラム(2015-2017)報告書を発刊

2017

■ 「日本文化創出を考える」研究会(西本清一)

2018~

■ SDGs時代における科学技術のあり方
-ブダペスト宣言から20年-(有本建男)
■ 第4次産業革命への適応
-社会経済システムの再編成-(佐和隆光)
■ けいはんな学研都市地域を軸とした教育システム輸出拠点の形成(高見 茂)

2019~

■ 「集合知ネットワーク」構築プロジェクト(駒井章治)